

明  
大  
錦  
新  
第  
十八  
号

可辨親の我儘可憐の子の氣儘  
 亥小西大組第一區立實堀北通六丁目  
 大原大治郎娘あつたとして十七歳ありふりも  
 識しき氣質なりはなはだ可愛き御守の  
 常やあつたをせし中もよき縁談と  
 或る日おつたこの父大治郎お説くべし  
 息娘と嫁したまふ縁者あつて

散り事 早速年知し娘小  
 何を結納しのかせし小事より大治郎の早合点  
 何分あり此縁と嫌ひて父の言葉も随分周旋人も父も今更なほり  
 さむりて事濟すとて思案とて先づ當分の客分と強て押付親權願ふ  
 西成郡第三區四番組光立寺村京谷嘉兵衛方へおつた遣り何  
 とおつたおつたおつた親の威ふせんか  
 京谷合点と指し四日小家出て行へし御嘉兵衛  
 こじめ家内一統八方へ人おつた五日の明け  
 新川口橋南詰の川岸へ平常見馴し下駄ありし其川下  
 探索し中津川小嶋新田字堤添と云ふ所おつた死體を直

略誌再圖  
 笠木芳瀧



阿波文板

